

ROSE

文化情報誌
ロゼ

2010 WINTER Vol.70

ROSE THEATRE
ART INFORMATION
OF FUJICITY
CULTURE MAGAZINE
ROSE



カルタハカタル

潤井川からたの小径から

INTERVIEW

古野 光昭

粋な大人時間

「第九」～その秘められた魔力

EVENT CALENDAR 2010

新進アーティスト作品展

はばたく静岡国文祭

THE STAGE SIDE STORY

Flash Back

INFORMATION FROM ROSE THEATRE



これやこの行くも帰るも分かれては
知るも知らぬも逢坂の関

蝉丸

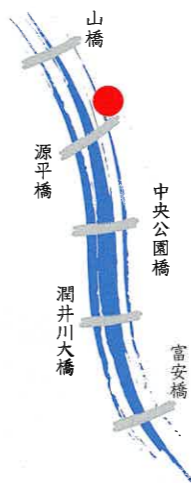
(訳) これがまさに送るものと帰すもの、知る者知らぬ者、同士もまた
出会いと別れを繰り返す、あの逢坂の関所なのだなあ。

百人一首かるたを用いた遊びの中でも、昔から人気の高い「坊主めくり」。小さなお子さんからお年寄りまで、世代を越え広く親しまれています。

こうした昔ながらの遊びには、往々にして地域独自のルールが存在しています。「坊主めくり」も例外ではなく、各地で様々なローカルルールが存在しているようです。共通する傾向として特徴的なのが、蝉丸が特別な役札として多く用いられること。ゲームの行方を占う役札に、なぜあえて蝉丸が起用されるのかはわかりませんが、二度聞いたら忘れられないその名前といい、絵札に描かれた怪しげな風貌の異彩を放つ存在であることは確かかなようです。

そもそも蝉丸とは一体どういう人物だったのか? 一般には盲目の琵琶法師と伝えられていますが、実は詳しいことは判っていません。高貴な身分だったという説もあれば、単なる乞食だったという説もあります。あるいはそんな謎めいた伝承が、いつのまにか奇怪な人物イメージを先行させ、「坊主めくり」における不動のポジション確立させたのかもしれない。

もういくつ寝るとお正月。DSやWiiも楽しいけれど、今年はこの家族で「坊主めくり」に興じてみてはいかがでしょう。



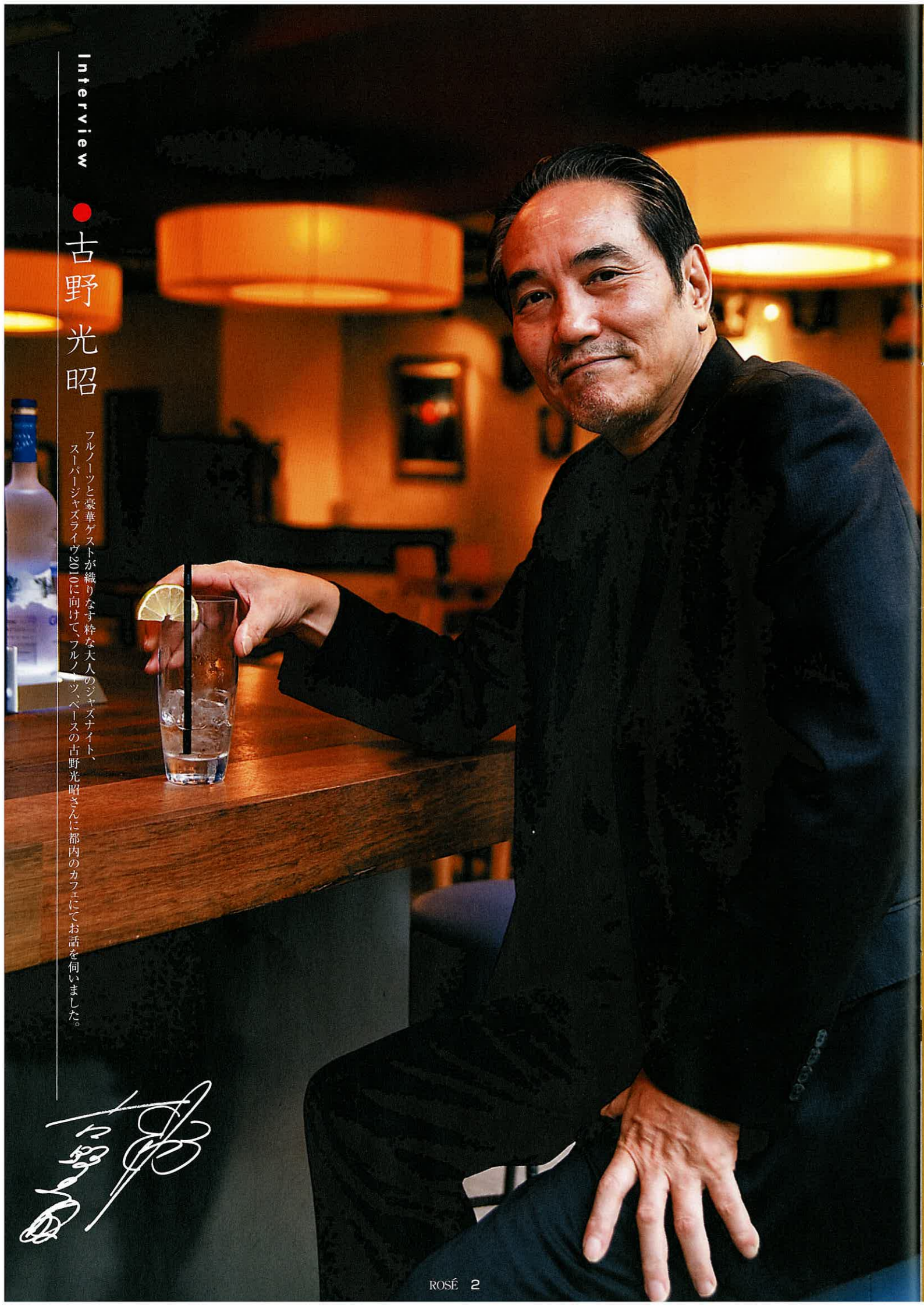
ロゼシアターの東を流れる潤井川。山橋から富安橋までの沿堤は、「潤井川かるたの小径」と名づけられ、百人一首を彫り込んだ石版百枚が、道行く人々を楽しませています。



蝉丸 (せみまる 生没年不詳)
平安時代前期に活躍。古くは「せみまる」とも。逢坂の関の近くに庵を結び暮らした。管弦に秀で琵琶の名人だったといわれる。

Contents

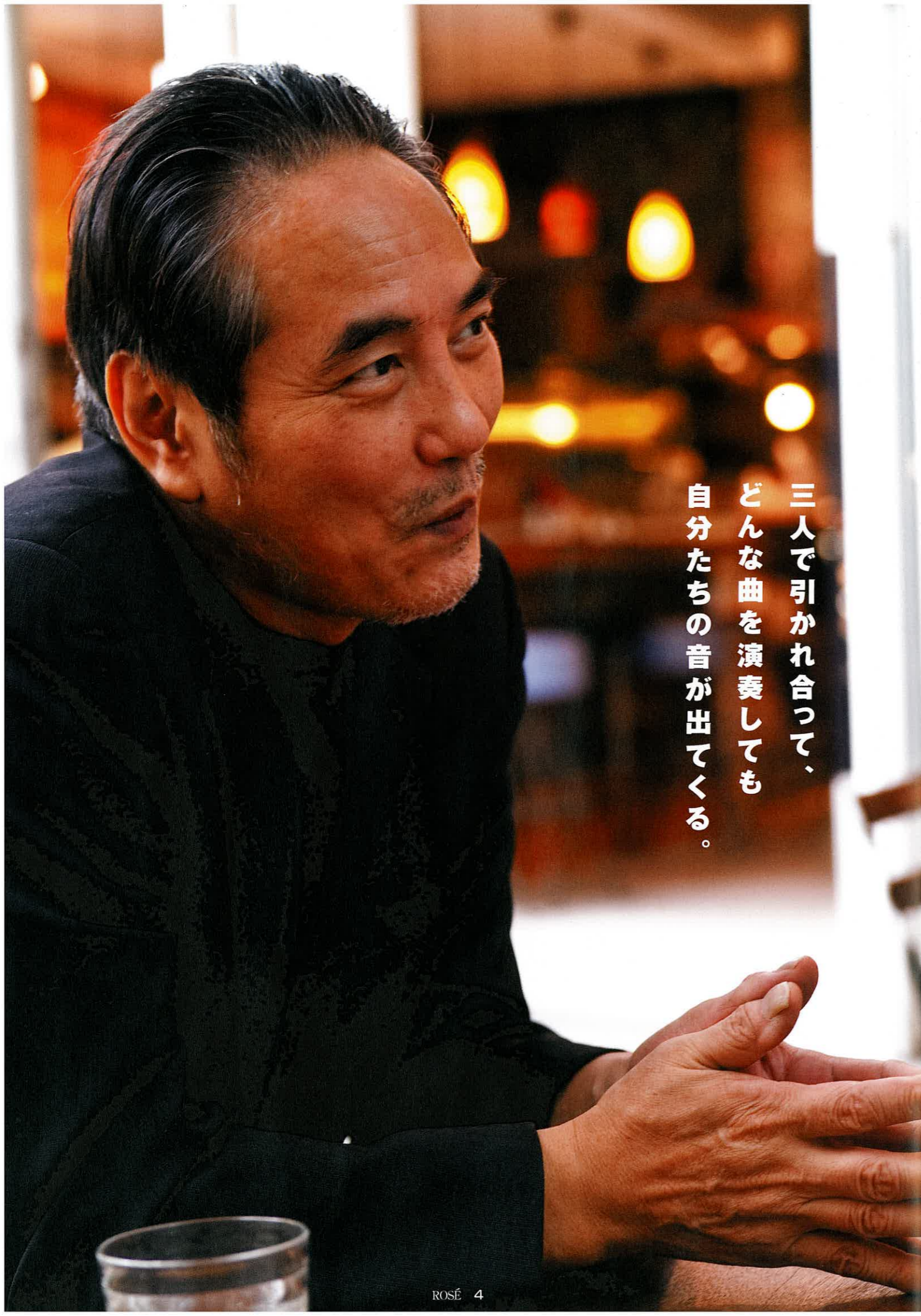
- **カルタハカタル**
潤井川かるたの小径から 1
- INTERVIEW
古野光昭
三人で引かれ合って、
どんな曲を演奏しても自分たちの音が出てくる。 2
- 特集
「第九」~その秘められた魔力
「浦久俊彦」 5
- EVENT CALENDAR 2010
平成22年度1月~3月 自主事業
情報先取り! 魅力あるイベント満載! 7
- 特集
新進アーティスト作品展 9
- はばたく静岡国文祭
シリーズ 最終回 11
- THE STAGE SIDE STORY
市民合唱「第九」 12
- Flash Back
■ロゼシアター主催事業
2009年 8・9・10月 13
- INFORMATION FROM ROSÉ THEATRE
◆ロゼ・チケットセンター移転のお知らせ
◆中ホール改修工事終了
◆ロゼ・メンバーズクラブ「友の会」会員制度変更のお知らせ
◆チケット購入方法
◆レストラン「ロゼ」のバイキング
◆プレゼントクイズ
◆休館日のお知らせ
◆新集後記 14



古野光昭

フルーツと豪華ゲストが織りなす粋な大人のジャズナイト、
スーパージャズライブ2010に向けて、フルーツ、ベースの古野光昭さんに都内のカフェにてお話を伺いました。

古野光昭



三人で引かれ合って、
どんな曲を演奏しても
自分たちの音が出てくる。



◆フルノーツのメンバーの特徴を教えてください。

特徴というか、川嶋哲郎という人は日本を代表するテナーサックス奏者で、フルノーツも演奏したり、本当に素晴らしいミュージシャンですね。ドラムの大坂も、なにをかわんやの存在で日本でも右に出るものはないほどの活躍ぶり。つまり、トリオで曲を演奏していても、お互い信頼し合っている中で、それぞれの音と音とがぶつかり合う、それがまた刺激的でおもしろいんです。どんな曲を演奏しても自分たちの音が出てくる。そんなところがすばらしいメンバーですね。ファンの方から、本当にフルノーツの演奏は「熱い」と言っていたのですが、熱くしようというわけではなく、同じ曲でも自然と熱くなってくる相乗効果、そんな感じなんです。川嶋の演奏なり、大坂の演奏なりを聞いているとうまく言えないのですが、口では言えない何かで出来上がってくるというか、お互いの演奏が好きだから、トータル的に完成させて行けるという部分が熱くさせているのではないのでしょうか。

◆そのフルノーツのメンバーに加えて、今回はピアノの山下洋輔さんと、ギターの渡辺香津美さんという豪華ゲストを加えてのライブとなりますが、このお二人とのきつかけは？

そうですね。山下さんとは、ずいぶん前になりますが二回ほど一緒に演奏させていただきました。一緒に演奏する機会もなかなかなくて、お互い勿論顔は知っているんですけど(笑)。今回は本当に久々ですね。渡辺さんとはフルノーツのゲストとしても来ていただいたり、個人のライブで一緒にしたりしています。僕自身、彼らとの演奏をとても楽しみにしています。

◆ロゼシアターでの公演は三年前の寺井尚子さんのライブ以来ですが、今回は男性のみの構成ということですか？

「サムライビョウ」みたいな、勿論フルノーツとしての見せ場も作りたくて、ゲスト二人とのデュオもあるだろうし、とにかく色々な事が出来るんじゃないかと、今から楽しみです。

るんじゃないかと、今から楽しみです。

◆アドリブが見せ所のジャズですが、出演者同士の打ち合わせなどはあるのですか？

当然演目をどうしようか、というのはありますが、アドリブについての打ち合わせは一切ないですね(笑)。オリジナル曲とかだったら、ある程度はリハーサルで確認しますが、スタンダードナンバーだったら、むしろ打ち合わせなしのぶつけの方が断然面白くなります。この五人だったら、「突然」がとつともなく面白くなること確実です。まあ、これから煮詰めて曲が決まったら、この五人でバツと、抜群にスリリングでエキサイティングな演奏が出来るとは思いません。かとも僕は思っています。それこそ、なんの取り決めもなくね。それがやっぱりジャズの底辺であり魅力です。ただ、ライブハウスと違ってコンサートとなると、時間は決めなきゃならないから……。

◆演奏中熱が入って時間が押ししたりすることもあるんじゃないですか。まあ、その辺は二曲ぐらいは大目に見てください(笑)。

◆二〇一〇年に結成十年目を迎えるフルノーツですが、今後の展望をお聞かせください。

実際フルノーツでの活動は年に数回ほどなんです。僕と川嶋君とか、僕と大坂とか個々で会うこともあるんですが、それぞれが忙しい中で三人が揃うことは実は少ないですね。でもその中で全員が揃うとグッと気持ち引締めると、何か特別なものはあります。それを大事にしていきたいです。

◆ジャズ奏者でありながらもジャンルにこだわらない古野さんの演奏ですが……

僕はそういうスタイルが好きで、アルコ(弓)でポプスを弾いたりとか、クラシックの曲を取り入れたりとか、逆に言えばジャズ演奏者としては異色な存在だと思っています。今回もジャズ以外の曲も入れていると思います。普段もクラシックはよく聞きます。シヨパンやチャイコフスキー、モーツァルトも好きですね。きれいな曲が好きでよく聞きます。セカンドアルバム「I see」もそういう意味ではいろんな要素が入っています。ジャズとは違って、どちらかというクラシックに近いというか、でもポプス要素もあり、土台にジャズがいる、と。

◆ライブやコンサートに限らず慰問イベントなどでも活動されていますね。

昔、障害センターで働いていた知人に頼まれて、ピアノと二人での演奏会をしたのが初めてです。そこからスタートして最後は五人編成にまでなつて、これは二十年ぐらいつづきました。七夕祭りとかのイベントなどにあわせてやっていたね。四、五曲演奏して、その後は聞き手の皆さんと一緒に踊ったりするプログラムを組むと、うれしそうに踊ってくれるんです。それを見るとこちらも熱が入りましたね。

◆始めての方でも聞きやすいジャズの例はありますか？

一般的にはやはりボーカルナンバーだったり、ピアノデュオとか。僕なんかはデイキシーランド・ジャズから入りました。高校時代はスイングジャズとかを聴いて、お、楽しい！と。楽しいとか、聞きやすいとか、そういうところがいいんです。最初に難しいものを聞いて食わず嫌いになってしまうのが一番怖いんです。

◆今回ロゼでも二月の公演前にプレイイベントを予定していますが……

ジャズという結構皆さん構えてしまうのですが、そうじゃなくてもっと身近なものなんだと、言葉を添えつつ演奏しつつ、こういう楽しみ方が出来るんですよという導入になればと考えています。とはいえ、ジャズは聴いて感じるものから、あまり解説するものでもないんですが(笑)。でも皆さんが入り易いと思っただけのきつかけになればと思っています。

◆最後に読者の皆さんに一言お願いします。

本当に、損はさせません！若い方からお年寄りまで幅広く夢中にさせます。張り切って演奏しますので、どうぞよろしくお願いします。

ありがとうございました。

文/渡井理恵 撮影/廣瀬貴礼 撮影協力/ラスチカス 高輪

●公演情報

フルノーツと豪華ゲストが織成すイキな大人のJAZZ NIGHT!

フルノーツ Super Jazz Live 2010

古野光昭(b)、川嶋哲郎(ts)、大坂昌彦(dr)をメンバーとするフルノーツに、山下洋輔(pf)、渡辺香津美(g)の豪華ゲストを迎えてのSUPER JAZZ LIVE。

2010年
2.28
SUN

●開場/17:30
●開演/18:00

●プレイベント情報

チケット購入者限定イベント!
1月9日(土) 18:30~リハーサル室
要整理券(チケット購入者限定配布)
出演者:古野光昭(b)
スペシャルゲスト:森下滋(p)

GUEST



古野光昭(bass) 川嶋哲郎(t-sax) 大坂昌彦(drums)

■チケット発売
ロゼ会員/11月21日(土)9:00~
一般/11月22日(日)9:00~
●入場料(全席指定・税込)
1階席/6,000円
2階席/5,000円
学生/2,000円
※未就学児入場不可



●ゲスト 山下洋輔(piano) ●ゲスト 渡辺香津美(guitar)

「第九」～その秘められた魔力

ベートーヴェン第9交響曲と『歌う』日本人



「第九」作曲当時のベートーヴェンの肖像 (F.G.ヴァルトミュラー作、1823年)

「第九」はなぜ日本人を虜にしたか？
「第九」といえば、日本ではもはや年末恒例の風物詩。「クリスマス」や「パレンタインデー」など西洋の伝統を自国の慣習に採り込んできた日本人の輸入文化のひとつです。近年はやや落ち着いてきたものの、一九八八年暮れに全国で開催された「第九」演奏会が、何と二五八回（一）という驚くべき記録も残っています。なぜこのドイツ生まれの音楽が、これほど日本人に愛されてきたのでしょうか？

日本に初めて鳴り響いた「第九」は、第一次世界大戦のドイツ人俘虜たちによる徳島県鳴門市での演奏だったと伝えられています。ときは一九二八（大正七）年六月一日。七年後の一九二五年には日本で初めてのプロオーケストラ、日本交響楽協会が誕生し、それから派生した新交響楽団（現NHK交響楽団の前身）の定期公演がラジオから流れるようになると、クラシックファンも飛躍的に増大します。一九二七年のベートーヴェン没後二〇〇年には、ヨゼフ・ケーニヒ指揮で日本のオーケストラによる「第九」が演奏され、それ以降毎年のように再演され、放送されるたびに、この大曲を持つ「ドラマ性」は多くの日本人の共感を呼び、生きる勇気を与えてくれる名曲として認知されていくのです。

「聴く」から「歌う」へ、合唱の魔力

「第九」のユニークさは、管弦楽のみが常識だった交響曲に「合唱」を加えた斬新さにあるといわれますが、実はこの「合唱」に「第九」の魔力が秘められています。第四楽章の有名なテーマ「歓喜の歌」が小学校の唱歌教材に初登場したのが昭和二十二年。そのシンブルで力強い旋律は瞬く間に国民の間に浸透し、「いつかあの名曲を歌ってみたい」という人々の憧れと情熱は、「第九」を単なるプロの音楽家たちによる演奏会だけではなく、合唱愛好家や市民が参加するイベントとしても発展させることになりました。一九八三年から大阪で開催されている「万人の第九」などは、まさに「イベント」としての第九の象徴的な存在といえます。



指揮者ベートーヴェン

「友愛」の精神と現代

「おお、友よ」で始まる有名な歌詞は、若き日のベートーヴェンがその思想に酔い、いつかそれを音楽にしたいと願ったシラーの詩「歓喜に寄す」が用いられています。それは、まさにこの夏政権を奪取した鳩山首相が唱える「友愛」の精神そのもの。ところが現代日本と当時のドイツでは「友愛」の持つ意味は大きく異なります。ベートーヴェンの生きたヨーロッパは、フランス革命をはじめとする激動の時代。民衆が自由を得るために命がけで戦ったように、ベートーヴェンは音楽という「武器」を手に戦っていたのです。「友愛」「自由」を掲げるために「歓喜に寄す」の言葉の力を彼が必要としたのは、音では表現できない思想そのものを訴えたいがためにほかなりません。そして、そのメッセージは、未だ真の平和が訪れたとはいえない混沌とした現代に、いまでも鳴り響いているのです。

浦久 俊彦



ベートーヴェンの葬式 (F. Stober 1827)

浦久俊彦

一九六二年生まれ。パリで作曲、器楽、歴史社会学、哲学、美学などを学ぶ。フランス、ヨーロッパを中心に、作曲執筆活動に加え、フランス、ドイツ、歴史文化財団などとともに、歴史的遺産プロジェクトの企画、プロデュースを担当。音楽だけでなく、広く芸術・文化全般の未来を見据えた企画を数多く手がける。二〇〇三年帰国後、ピアノ・仲道時代のプロジェクトをそのコンサート企画、ホール・プロデュースなど多彩な活動を展開している。二〇〇七年、三井住友海上しらかわホールのエグゼクティブ・ディレクターに就任。

P R O F I L E

EVENT CALENDAR 2010

3 MARCH

3/13 土曜日 ミュージカル「HAND in HAND～心と心の回想録」
中ホール
開場/18:00 開演/18:30
●入場料(全席自由・税込) 均一/2,000円 ※未就学児入場不可
チケット発売日(未定)



ROSE THEATRE MUSICAL 2010
HAND in HAND

3/14 日曜日 開場/12:30 開演/13:00

3/21 日曜日 西本智実指揮
日本フィルハーモニー交響楽団
プログラム:チャイコフスキー/バレエ音楽「くるみ割り人形」より抜粋
ショスタコーヴィチ/交響曲第5番「革命」 他
大ホール
開場/14:30 開演/15:00
入場料(全席指定・税込)
S席/8,000円 A席/6,000円 学生/4,000円 ※未就学児入場不可
チケットお問い合わせください。



3/14 日曜日 ロゼピアノコンクール2010〈予選〉
小ホール
午前:学生の部
午後:一般の部
●入場無料
※未就学児入場不可

3/24 水曜日 ロゼこどもスプリングコンサート
協力・音楽監督:茅原初子
小さなお子さまと楽しめる演奏プログラム!ご家族そろって、お出かけください。
小ホール
1回目(0歳より入場可) 開場/10:30 開演/11:00
2回目(3歳より入場可) 開場/13:30 開演/14:00
●入場料(全席自由・税込) 均一:500円
ロゼ会員・一般共通/1月27日(水)9:00~

3/26 金曜日 ロゼピアノコンクール2010〈本選〉
中ホール
●入場無料
※未就学児入場不可

2 FEBRUARY

2/28 日曜日 フルノーツ Super Jazz Live 2010
出演:古野光昭(Bass)、川嶋哲郎(T-Sax)、大坂昌彦(Drums)
ゲスト:山下洋輔(Piano)、渡辺香津美(Guitar)
中ホール
開場/17:30 開演/18:00
入場料(全席指定・税込)
1階席/6,000円 2階席/5,000円 学生/2,000円 ※未就学児入場不可 チケット好評発売中



2/27 土曜日 新進アーティスト作品展 VIII
-Art Generation 2010-
展示室
開場/10:00 閉場/18:00 (最終日17:00 まで)
●入場無料
3/7 日曜日 同時開催/Art Generation 2009
優秀賞受賞 清水玲子 作品展「作りかけの胞子」
※作品募集は12月1日(火)~2月11日(木)。詳しくはロゼシアターホームページをご覧ください。



3 MARCH

3/1 月曜日 劇団四季
大ホール
開場/18:00 開演/18:30
●入場料(全席指定・税込)
S席:8,000円 A席:6,000円
B席:5,000円 C席:3,000円
チケットお問い合わせください。

55 Steps
SONG & DANCE



3/7 日曜日 それいけ!アンパンマン ミュージカル
「おかしな国のおかしなパーティー」
大ホール
1回目 開場/11:30 開演/12:00
2回目 開場/15:00 開演/15:30
●入場料(全席指定・税込)
2,300円(当日2,500円)
※3才以上有料。2才以下は保護者1名につき1名ひざ上鑑賞可。
ただし、お席が必要なお子様は有料。
チケット発売日
ロゼ会員・一般共通/1月17日(日)9:00~(窓口・電話)



©やなせたかし/フレーベル館・TMS・NTV

1 JANUARY

1/15 金曜日 青島広志のニューイヤーコンサート
“音楽のお供え”おめでたい、にぎやかな曲を集めて
プログラム:乾杯の歌(「梅姫」より)、子守歌(トッブラー) 他
小ホール
開場/18:30 開演/19:00
●入場料(全席指定・税込) 均一/2,500円 ※未就学児入場不可
チケット完売



1/24 日曜日 2010小林研一郎 第九演奏会
指揮:小林研一郎
管弦楽:富士フィルハーモニー管弦楽団
ピアノ:小林亜矢乃
ソリスト:ソプラノ/岩下晶子 アルト/清水華澄
テノール/錦織 健 バリトン/初鹿野 剛
合唱団:富士ロゼシアター合唱団
プログラム:モーツァルト/ピアノ協奏曲第20番二短調K.466
ベートーヴェン/交響曲第9番二短調OP.125「合唱付き」



小林研一郎 富士フィルハーモニー管弦楽団



小林亜矢乃 岩下 晶子 清水 華澄 錦織 健 初鹿野 剛

2 FEBRUARY

2/24 水曜日 美輪明宏音楽会<愛>L'AMOUR2010
大ホール
開場/18:00 開演/18:30
●入場料(全席指定・税込) 均一/7,350円
※未就学児入場不可
チケットお問い合わせください。



※ロゼシアター主催公演のチケット購入方法については14ページをご覧ください。
※表示価格は全て消費税が含まれております。

Art Generation 2010 募集要項

新進アーティスト作品展Ⅷ

受付期間 2009.12.1(火) - 2010.2.11(木) 必着

【審査員】 坂田純一(美術評論家、東京都庭園美術館副館長) おうみかずひろ(イラストレーター)
【作品ジャンル】 (展示する上での分類)
 平面作品・・・絵画、版画、写真、レリーフ、コンピューター・グラフィック等の手法を用いた平面作品
 立体作品・・・彫刻、オブジェ 等
 映像作品
 インスタレーション

【作品サイズ】
 平面作品・・・・・・S100号(162.1cm×162.1cm)以内 重量20kg以内
 立体作品・・・・・・高さ300cm×幅300cm×奥行300cm以内 重量60kg以内
 映像作品・・・・・・上映時間3分以内、モニターなど機材持込のこと
 他の作品鑑賞に支障のない音量であること、ヘッドホン持込可
 インスタレーション・・・高さ300cm×幅300cm×奥行300cm以内 重量60kg以内
 ・応募作品は応募者自身の作品で、テーマは自由、既存の作品でもよく、1人1点とします。
 ・作品と共に展示するので、作品についてのコメント(約100字)を添付してください。
 ・搬出入、展示、撤収が簡単にできる状態にしてください。(持ち運び、移動が容易にできるように)
 ・平面作品は額装し(ガラス使用不可)、ピクチャーレールにワイヤーで吊れるように、吊り金具をつけてください。
 ・立体作品は天吊りできません。
 ・展示に不適切であると主催者が判断した作品は、展示をお断りする場合があります。
 ・不定形な作品については相談を受けます。展示する上で、特別な指示がある作品については、作家ご本人に現場で組み立てていただく場合があります。

【応募資格】
 ・作家を志し、美術を通して自分を表現することに情熱をかけている人。
 ・18歳～35歳まで(H21.4.1現在)。
 ・静岡県全域出身者および在住、在学、在勤の人。 以上の条件をすべて満たしている方

【賞】
優 秀 賞 (1点):賞金10万円・賞状・副賞(ターナー色彩株式会社ゴールデンアクリリックス20ml 24色セット)
佳 作 (1点):賞金 5万円・賞状・副賞(ターナー色彩株式会社ゴールデンアクリリックス20ml 18色セット)
審査員特別賞 (2点):賞金 3万円・賞状・副賞(ターナー色彩株式会社ゴールデンアクリリックス20ml 18色セット)
 ※3月7日(日)の交流会の中で表彰式を行います。

【審査・結果発表】
 ・審査は芸術的観点から総合的に評価します。
 ・審査の結果は、入選者のみ書面にて通知します。

【出品料】 1,000円(入金した出品料は返金いたしますのでご了承ください)

【応募方法】
 ・応募には所定の「応募用紙」が必要です。「応募用紙」は送付先の住所・氏名を明記の上、はがき・Faxにて、(財)富士市文化振興財団<新進アーティスト作品展>係までご請求ください。
 または、ロゼシアターホームページよりダウンロードできます。ロゼシアター1F財団事務所まで直接取りに来ていただいても結構です。
 ・「応募用紙」に必要事項を明記の上、受付期間中に係まで郵送、または直接持参して下さい。
 <委託搬入の場合>
 出品料とともに「応募用紙」を現金書留で送付してください。

【作品搬入】 2010年2月21日(日) 10:00～19:00
 場所 / 富士市文化会館ロゼシアター1F 展示室搬入口より
 ・所定の書類「作品票・作品受付証・作品添付証」に必要事項を記入の上、出品料、作品とともに搬入してください。
 <委託搬入の場合>
 所定の書類「作品票・作品受付証・作品添付証」に必要事項を記入の上、作品とともに搬入してください。「作品受付証」を郵送するため、80円切手を貼付し、送り先の住所・氏名を書いた封筒を作品に同封して下さい。また、作品の天地を明らかにしておいてください。

【作品搬出】 2010年3月8日(月) 10:00～19:00 場所 / 搬入時と同様
 ・「作品受付証」と引き換えに、作品を返却します。
 ・3月7日(日)交流会終了後の搬出可能です。

【その他】
 ・作品の額装、装装及び搬入、搬出に要する費用は応募者の負担とします。
 ・搬入、搬出の期日、時間は厳守してください。(運送業者は応募者自身で手配してください)
 ・応募作品については、当展の宣伝広報のため、撮影、新聞掲載、放送などに使用する場合がごあります。あらかじめご了承ください。
 ・会期中、保管中の作品については十分注意して取り扱いますが、不可抗力による損害については責任を負いません。
 ・陳列した作品は会期終了まで撤去することはできません。

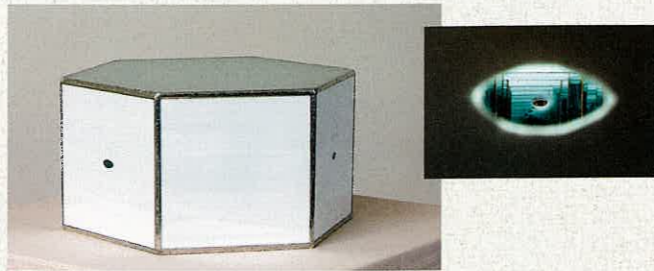
高校生の部
【応募資格】・・・・・・静岡県内高校生(H21.4.1現在)
【賞】・・・・・・**A・G賞**:賞状・副賞(ターナー色彩株式会社/ゴールデンアクリリックス20ml 12色ノーマルセット)
 ※3月7日(日)の交流会の中で表彰式を行います。

【出品料】・・・・・・「高校生の部」は必要ありません。
 ◎その他、お問い合わせ等については一般公募同様



展示期間
2010.2.27(土) - 3.7(日) 10:00～18:00 (最終日は17:00まで)
富士市文化会館(ロゼシアター) 展示室 入場無料

主催/ (財)富士市文化振興財団 協賛後/ 静岡新聞社・静岡放送 富士ニュース社 浜南朝日新聞社 協賛/ ターナー色彩株式会社



第5回(2007) 加瀬かおり 「自分の目と目が合うための目」

始めは、合わせ鏡のボックスの中に作品を入れてそれを見てもらう作品を考えていました。しかし、合わせ鏡のボックスができた時点で何も入れずに覗いていたら、自分の目がこちらを見返していることに気がきました。そこからこの作品を思いつきました。見るということは、逆に見られていることにもなる。自分の目と目が合う、普段鏡で自分を見ていてもあまり感じない不思議な感覚を体感してもらえ作品になればと思い制作しました。



第6回(2008) 富田貴智 「参加型アート」

★植物に水をあたえてください
 ★赤い布地がかかったものは“いず”です。座ってくつろいでみてください
 ★気楽にたのしんでください
 ホッとくつろげれば幸いです。



第7回(2009) 清水玲子 「欲望」

この作品は、自分の奥からあふれだす、あらゆる欲望を昇華したくて描きました。私は人物、特に女性を描くことに興味があります。周りはアルストロメリアの花を描きました。色の響き合いを大事にしました。

静岡県内の18～35歳限定公募展
「新進アーティスト作品展」
 公募展でありながら、作者のコメントを作品に添えて展示することが特徴のひとつになっている。それは、見る側がより作品に親しみをもち、それは、見る側ができるようにするため持つ鑑賞することができるといえる。作者の試行錯誤の様子、作品に寄せられる思い、鑑賞者への呼びかけなどそれぞれ異なるが、いわば見る側と作品とを結ぶ「橋渡し」のような存在になっている。
 鑑賞とは、見る側の思うままに見たり解釈したりすればいいわけだが、コメントを読むことによって、《鑑賞のきっかけ》が生まれ、作品と対等に向き合えるのではないだろうか。
 ぜひお試しあれ!!

第1回(2002) 長田俊広 「閉ざされた小さな世界の中の嘘つき家族、または愚かな正直者家族」

ボクは本が好きだ。真理や嘘、その他もろもろのどうでもよいことを秘めながら、確かにそこに存在する。
 ボクは星が好きだ。しかし星座の名前を知らないせいか、星はボクをまったく無視し続ける。しかも何も隠さずおっぴろげに。



第2回(2004) 白川わかね 「始まりの場所」

混沌としたイメージが頭の中を結んで流れてゆく全ての映像が消え去った後におぼろげな何かが現れてくる。それを具現化する。不思議な力に導かれるように。それは私の中に存在する。私の意識が覚醒するそこが「始まりの場所」



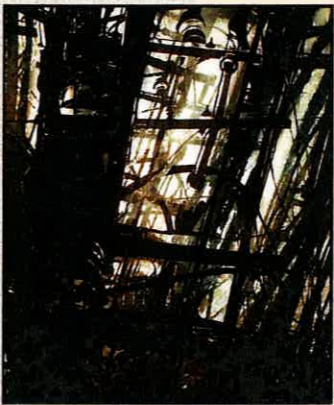
第3回(2005) 船山直明 「トンボ40号 蜻蛉の背からカビが生えるまで」

私は設計図や機構案的なものの図柄に興味がある。昆虫のデザインも機械的で格好良い。蜻蛉を捕まえたのでモチーフにした。画面を隅々まで使い蜻蛉から考えられるイメージやそこから現れる問題とそれに対する自分の答えを描きつけた。



第4回(2006) 市場勇太 「遷移」

移りゆくあるひと時



第九

結団式 ~そして into Action~

THE STAGESIDE STORY

来年1月に開催される「2010小林研一郎 第九演奏会」に向け6年ぶりに再結成した“富士ロゼシアター合唱団”の結団式が行われた。



“炎のマエストロ”=コバケンこと小林研一郎氏を指揮に迎え、“テノールの貴公子”錦織健氏らソリストのもと、“富士フィルハーモニー管弦楽団”と共に謳いあげる歓喜の歌「第九」。このためにピギナークラスから参加してきた120名と、新たに加わった70名からなる総勢190名のメンバーが集結した。2ヶ月間の練習を終え顔見知りとなったピギナークラスの面々、今回からの参加者たちも日頃の合唱活動を通じて顔馴染みのように結団式は和気藹々とした雰囲気で行われた。

そして、小林研一郎氏に師事した富澤裕先生の指導のもと、第1回目の練習が始まる。先ほどの結団式と違い、メンバーたちの顔つきも引き締まり意気軒昂といった感じだ。まずはリンパの流れをよくするために入念なストレッチ。(合唱なのにリンパ?と思ったのだが、どうやらリンパの流れがいいと体がリラックスして、血液や息がスムーズに回るようになって声が響きやすくなるらしい。)その後、音階や和音などの基礎練習をたっぷり行い、いよいよ楽譜を手にする。富澤先生の指導は時にユーモアを含みながらテンポよく進んでいく。「パワーよりも共鳴を」と話しながら、西洋と日本では手拍子の打ち方が違うこと、そこから学ぶリズムの取り方、頬の意識の仕方、意識して自分の声を聞くことなど、押しつけではない芯のあるわかりやすい指導だと感じた。ほどなく、メンバーの声が変わっていくのがわかった。

音域がどんどん伸びていき、透明感が増していくのだ。途中、先生がピアノの蓋を大きく開けて発音させると、ピアノの弦に共鳴した音色が会場に静かに響いた。そのなんともいえず澄んだ音色に思わず感嘆の声がもれる。洒落ではないが「琴線に触れる」瞬間に出会った感じがした。練習終了後、汗だくで指導して下さった富澤先生から「いい感じですね」と一言いただいた。このありがたい言葉を次の練習でメンバーたちに伝えよう。来年1月の本番まで、練習は残すところ12回。彼らのハーモニーは1月24日の演奏会まで練習会場に響き続ける。



2010 小林研一郎 第九演奏会

プログラム モーツァルト/ピアノ協奏曲第20番ニ短調K.466
ベートーヴェン/交響曲第9番ニ短調「合唱付き」

指揮 小林 研一郎
独奏・独唱 ピアノ 小林 亜矢乃
ソプラノ 岩下 晶子
アルト 清水 華澄
テノール 錦織 健
バリトン 初鹿野 剛
管弦楽 富士フィルハーモニー管弦楽団
合唱団 富士ロゼシアター合唱団
合唱指揮 富澤 裕



2010年1月24日(日) 開場13:00 開演14:00
富士市文化会館ロゼシアター 大ホール

入場料(全席指定・税込) チケット好評発売中
S席4,500円 [残券僅少] / A席3,500円
B席2,500円 / 学生1,500円 (S席以外)

主催 財団法人富士市文化振興財団/富士フィルハーモニー管弦楽団

お問合せ先 ロゼ・チケットセンター ☎0545-60-2500 (9:00-20:00) <http://rose-theatre.jp/>



第24回国民文化祭・しずおか2009 IN 富士
ふじのくに 高まる広がる 文化の波

2009年10月24日(土) ~ 11月8日(日)

[第24回国民文化祭富士市実行委員会] TEL.0545-55-2874 FAX.0545-53-0789

終了
しました!



マスコットキャラクター
「ふじっぴー」

開催期間中、その市町ならではの文化・芸術イベントが開かれ富士市でも7つの事業が華やかに行われました。

美術展「写真」

富士市の事業のトップをきったのは、美術展「写真」。915点もの作品が全国より集まり、審査の結果、入賞・入選併せて253点の作品が展示されました。期間中、審査員長の田沼武能先生をお招きしての講演会・交流会も大盛況のうちに終了いたしました。



少年少女合唱の祭典

静岡県外から15団体、県内からは10団体、計25の少年少女合唱団が全国より集まり、富士の麓で美しい歌声を響かせました。午前中には全員参加のワークショップ、午後の第二部では各団の発表、堤俊作氏を指揮にオーケストラとのジョイントによる合同演奏、富士市少年少女合唱団による創作合唱曲「富士の子どもたちの歌ごよみ」の演奏がなされ、観客に感動をあたえていました。



出版・マンガフェスティバル

代表作「あしたのジョー」で知られるマンガ家のちばてつや氏のトークショーやそれいけ!アンパンマンショー、子どもマンガ教室、講談社の協力による週刊少年マガジン創刊50周年記念パネル展など、盛りだくさんのプログラムで、マンガ文化を全国に発信しました。会期中はマンガファンだけでなく、小さなお子さんからお年寄りの方すべての世代の方が訪れてくださいました。



紙のアートフェスティバル

紙のまちとしても有名な富士市。すべてが紙で創られたアート作品を一同に紹介した紙のアートフェスティバルでは、大胆かつ繊細な作品を多数展示しました。また会期中には、ペーパークラフト作家の光武利将氏のワークショップや、会場を別にしての紙作品製作の見学会などを開催し、多くの来場者が紙の可能性とアート性に関心をもたれていました。



かぐや姫フェスティバル シンポジウム

杉山直さんと静岡県立吉原高等学校による新朗読から始まり、手紙文コンクール表彰式も行われました。シンポジウムでは里中満智子さんと杉山直さんが対談し、ファッションコンテストでは桂由美さんが特別審査員として参加するなど、会場を盛り上げました。

かぐや姫フェスティバル ミュージカル

66名の子どもたちによる創作ミュージカル「かぐや姫の願いごと」。当日は多くの観客の前で、半年の練習の成果を発揮しました。



かぐや姫フェスティバル 手紙文コンクール

全国から499通の手紙文が応募され、21人が入賞しました。展示部門では、手紙文の展示以外にももちつきやお茶などでもてなし、多くの方が来場されました。表彰式では、入賞者の表彰の他に手紙文の朗読も行われました。



Information from ROSÉ THEATRE

ロゼシアターからのお知らせ

「ロゼフレンドシップ」登録のご案内



ロゼシアター自主事業公演のチケットをご購入・ご予約の際は「ロゼフレンドシップ」への登録が必要です。(登録無料)

ロゼシアターのホームページや、窓口から登録いただけます。事前に登録していただきますと、インターネット窓口・電話での購入手続きがスムーズに行えます。ご理解とご協力の程をお願いいたします。

公演情報のご案内をお届けします!

ロゼシアター自主事業公演情報を郵送・電子メールでご案内いたします。

チケット予約が簡単・便利になります!!

●インターネットの場合(お客様のメールアドレスが必要です)ロゼシアターホームページから予約・購入ができます。24時間いつでも予約ができ、クレジットカードでお支払いができるほか、セブンイレブン店頭にてお支払い・チケットの受け取りができます。

●窓口&電話の場合チケットを購入する際に、ロゼフレンドシップの登録IDまたは名前と電話番号をお申し出いただくと、簡単に購入手続きができます。

中ホールの改修工事が終了いたしました

長期間、皆様には大変ご迷惑をおかけしました。これからも安全に気持ちよくご利用いただけますよう、よろしくお願いいたします。



ホワイエの壁(写真)床・舞台床面、舞台床・照明設備などを一新しました。

ロゼシアター主催公演のチケット購入方法

●ロゼ・チケットセンターで直接購入(9:00~20:00)
ロゼシアター1階会議室事務室内のロゼ・チケットセンターへどうぞ。座席表を見て空席の中から好きな席が選べます。

●ロゼ・チケットセンター電話受付で購入(9:00~20:00)
TEL.0545-60-2500にお電話でお申し込みのうえ、以下の方法でチケットをお受け取り下さい。
【1】直接来館...ロゼ・チケットセンターでチケット代金とお引き換え下さい。
【2】郵送...「チケット代金+チケット郵送料」を郵便振替でご入金いただき、ロゼ・チケットセンターでご入金を確認でき次第チケットを郵送いたします。

郵便振替口座:00840-0-130374 加入者名:ロゼ・チケットセンター

●インターネットで購入 <http://rose-theatre.jp/> 24時間受付
ロゼシアターホームページにアクセス、チケット購入ページからお求め下さい。(座席は選べません)
※チケットの引き換えはセブンイレブン、またはロゼ・チケットセンター

●携帯サイトで購入 http://rose-theatre.jp/mobile/top_mo.htm
ロゼシアターモバイルサイトにアクセス、チケット購入ページからお求め下さい。(座席は選べません)
右記QRコードからもアクセスできます。
※チケットの引き換えはセブンイレブン、またはロゼ・チケットセンター

●プレイガイドで直接購入※取り扱いのない公演もございます。
■マルサン書店 沼津仲見世店 TEL.055-963-0350
■ピアゴ 富士宮店 TEL.0544-24-6777(代)



ロゼシアター友の会「ロゼ・メンバーズクラブ」会員制度変更のお知らせ

現在の有料会員制度「ロゼ・メンバーズクラブ」平成22年3月末日で廃止。

新制度「ロゼフレンドシップ」平成21年10月1日より開始。

お得で便利な新制度内容!!

- ◆入会料・会費は無料
- ◆有効期限は入会日より1年間
- ◆特別販売キャンペーン
- ◆DM発送
- ◆インターネット先行販売(指定公演)



プレゼントクイズ
2010年3月21日(日)開催の「日本フィルハーモニー交響楽団 演奏会」指揮は「〇〇〇〇」。

プレゼント1 「日本フィルハーモニー交響楽団 演奏会」2010年3月21日(日)公演チケット5組10名様
プレゼント2 レストラン「ロゼ」御招待券 2組4名様

【応募方法】添付はがきに、住所、氏名、年齢、電話番号、性別、クイズの答え、希望するプレゼント名、本誌に対するご意見、ご感想等をお書きのうえ、50円切手を貼り郵送してください。(平成22年2月28日消印有効)なお、当選者はプレゼントの発送をもって発表にかえさせていただきます。※応募はお一人様一通までとさせていただきます。同一氏名で二通以上ご応募の場合は、全て無効とさせていただきます。

レストランロゼのバイキング

昼 [60分] 11:00~14:30
【料金】大人 1,575円、小学生 1,050円、幼児 525円

夜 [70分] 17:00~21:00
【料金】大人 2,100円、小学生 1,050円、幼児 525円

デザートも充実!!
レストランロゼ (ホテルグランド富士直営) ロゼシアター2階
●お電話でのご予約も承ります。
TEL.0545-60-2727

ロゼシアター休館日のお知らせ

1月1日(金)~3日(日)・18日(月) 2月15日(月)~18日(木) 3月31日(水)

ロゼシアターホームページで情報を!! <http://rose-theatre.jp> ◆公演情報 ◆施設の空き状況 ◆交通情報など



フラッシュ

バック

Flash Back

2009年8月▶10月 ロゼシアター主催(共催)事業をお客様のアンケートをもとにフラッシュバックしてみました。

7/31(金) 8/9(日) 和室
多賀紙人形展
●紙人形を初めて拝見させて頂き、ドラマ性に感激しました。(60代 女性)
●表情豊かに五十三次のそれぞれの場面を表してあり、もうびっくり感動しました。(60代 女性)

8/26(水) 中ホール
ロゼこどもコンサート
●知っている歌になると、子供たちが元気いっぱい歌ってよかったです。
●子供が、初めての体験をして、じっと見ていました。とても楽しそうでした。
●子供も大人も楽しめるコンサートでした!

8/29(土) 大ホール
フレッシュプリキュア! ミュージカルショー
●さわやかな空気に響くバンドに魅せられて楽しかった(70代 女性)
●子供連れも一緒に楽しめる雰囲気がい。いろいろな音楽を演奏していただきました(60代 女性)
●楽しかったです!リズムにのれました。(小学生 女子)

9/13(日) 大ホール
加山雄三 with ザ・ワイルドワズ コンサートツアー
●生涯、青年。見習いたいと思います。(70代 男性)
●昔覚えた歌詞は忘れないんですね!一緒に歌えました!(50代 女性)
●72歳のパワー、すごい素敵です!来てよかった!(50代 女性)
●同じ年!がんばるぞ!!(70代 男性)

9/19(土) 野外ステージ
ロゼPresents 第19回 星空のコンサート
●価格もお手頃で、こんなに良いものが見れるのはとても素晴らしいです!(20代 女性)
●声にとっても迫力がありました。面白かったです。(30代 男性)
●初めてのオペラでしたが、こんなに面白くはないと思いませんでした!テレビでは絶対伝わらない!!(40代 女性)
●オペラを初めて見ました。声がすごいキレイでかっこよかったです!(高校生 女性)

9/21(月・祝) 大ホール
オペラ「ドン・ジョヴァンニ」
●楽しみにしていた公演、見ごたえがあり、よかったです。(70代 女性)
●すばらしい衣装と厚みのある演技を堪能させていただきました。(50代 女性)
●映画とは違った、生のよさがあった。(60代 男性)
●自然と涙があふれて頬筋も流れました。全てが鮮やかで素敵でした。(30代 女性)

9/22(火・祝) 中ホール
K-MIX公開録音LIVE
●全員でのセッション、よかったです!(30代 女性)
●3組ともキレイな歌声で素晴らしい時間でした!(20代 女性)
●“良かった”の一言。来てたくさんの元気を貰いました。(40代 男性)

9/30(水) 大ホール
細雪
●順子さんのパワーは最高です!(50代 女性)
●アラ還世代に希望を持たせてくれてありがとうございました。(50代 女性)
●すばらしいムードにひたります。ますます好きになりました。(70代 女性)
●ヒット曲はもちろん、ジャズナンバーも聞けてとてもよかったです!(40代 女性)

10/18(日) 大ホール
秋元順子コンサートツアー2009・秋 ~愛する人のために~

●順子さんのパワーは最高です!(50代 女性)
●アラ還世代に希望を持たせてくれてありがとうございました。(50代 女性)
●すばらしいムードにひたります。ますます好きになりました。(70代 女性)
●ヒット曲はもちろん、ジャズナンバーも聞けてとてもよかったです!(40代 女性)